

北村瑞貴の政経塾【早稲田+GMARCH2020 年度出題分析】

I 傾向分析と出題の特徴

- ① **W 早稲田大学** ●選択+記述式(※社会科学部と人間科学部は選択式のみ)
 - ★論述問題が出題される学部は注意。
 - ・論述では、統治行為論やプログラム規定説など基本的なものをはじめ、応用も。
 - ・商学部では、価格弾力性の計算が2年連続で出題中。今年度も注意。
 - ・学部間スライドが目立つ。複数学部受験者は、復習を怠らず!

- ② **G 学習院大学** ●選択+記述式
 - ★2020 年度、現状では難化傾向。
 - ・1度出題された範囲の再度出題は少ない。

- ③ **M 明治大学** ●選択+記述式(全学部は選択式のみ)
 - ・学部に関する出題がある。例) 法学部→法規、農学部→食糧・環境問題など
 - ・学部間スライドの傾向あり。

- ④ **A 青山学院大学** ●選択+記述式(全学部は選択式のみ)
 - ・日本国憲法条文問題が頻出。条文に注目しておこう。
 - 前文・1条・9条・13条・25条など 頻出の条文には必ず目を通しておくこと。
 - 生前退位に関して、解釈改憲などについての動きには注意。

- ⑤ **R 立教大学** ●選択+記述式
 - ・大問が2つ。同年スライドでの同一範囲は出題されにくい。
 - 古い過去問をやる or 近年の志望学部に出題されていない範囲の学習を!

- ⑥ **C 中央大学** ●選択+記述式(統一入試は選択式のみ)
 - ・日本国憲法条文問題が頻出。条文に注目しておこう! 経済学説・理論も頻出!
 - 前文・1条・9条・13条・25条など 頻出の条文には必ず目を通しておくこと。
 - 学説・提唱者・その学説の意味をセットで覚えておくこと。
 - 例) 『人口論』・マルサス・食料が等差数列的、人口が幾何級数的に増加する

- ⑦ **H 法政大学** ●全学部選択式
 - ・同一年度で似た単元からの出題がある! →前半の問題と後半の問題が類似。

北村瑞貴の政経塾【早稲田+GMARCH2020 年度出題分析】

II 今年度 流行・頻出問題

関西圏の大学を例にとって・・・

●「格付け会社(機関)」

図Ⅰ 立命館大学(2/1 同一日出題!)

売り出すことが容易となった。貸手はこれらの金融商品を投資銀行やヘッジファンドに売却し、貸付金を回収できるため、借手にローンが貸しやすくなる。その一方で、借手の返済能力を十分に審査・監視しないまま貸付を行う傾向が強まった。さらに、こうした金融商品は、ムーディーズやS&Pなどの によって高い評

図Ⅱ 関西大学(2/1 同一日出題!)

問B) 下線部①に関して、社債は発行時にその信用状態が調査され、その結果付与される、AAA、Aa1、BB+といったアルファベットや数字等による等級によって発行条件が変わってくる。このような、社債に等級を付与する組織のことを何というか。最も適当なものを次の(ア)～(イ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 格付け機関
- (イ) 商工会議所
- (ウ) 投資ファンド
- (エ) 証券保管振替機構
- (オ) 預金保険機構

★学習院大学 2/6 にも漢字3字で「格付け」を記述させる問題として登場
今年度の流行。他大学でも出題の可能性が! 関関同立の問題にも目を通しておこう!

●市場メカニズムと需要曲線シフト

→関西大学 2/6 [Ⅱ] の問題を解いてみよう!

●価格弾力性の計算問題

→同志社大学 2/6 [Ⅱ] 【設問3】の問題を解いてみよう!

特に、早稲田商学部をはじめ、計算に不安のある人はやっておくべき!

●国際経済体制、環境・エネルギー問題

→各大学で、「国際経済体制」「環境」の範囲が頻出。関東でも同様だろう。

→立命館大学 2/3・2/7 対策のスペシャルプリントを活用しよう。

記述式問題で出題されそうな箇所を赤字でまとめています。

●時事問題

→関東圏の大学は、関西圏の大学以上に時事問題を好む。HPに掲載している

「**2020年度の時事問題**」は必見!